

2009 年度 IPA 情報セキュリティセミナー
 ～情報化社会における企業の情報セキュリティ対策について～
経済産業省・(独)情報処理推進機構 (IPA) ・日本商工会議所と共同で開催 !!

今日、産業や政府活動、国民生活の多くがコンピュータやコンピュータネットワークに依存し、IT は企業の競争力を高めるために必要不可欠な要素となっています。他方、企業や官公庁からの情報漏えい、パソコンの紛失や盗難などの事件が相次いで起きています。このような状況はもはや他人事ではなく、事件に見舞われた時には、顧客に重大な損害を与え、自社に不利益をもたらすだけでなく、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失ってしまう恐れがあります。

情報システム上で金銭や個人情報などを狙う手法、コンピュータウイルス・スパイウェアなどの不正なプログラムは、技術的に巧妙になって来ているだけでなく、人間の心理を巧みにつく手法を用いるなど、以前より格段に悪質になっています。事業者は事件・事故を未然に防ぐために日々最新の情報を入手し、技術的な対策や社内における人的管理、組織的管理や教育などの対策を講じる必要があります。

このような状況を踏まえ、経済産業省及び独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) では、商工会議所を始めとする各種団体の協力の下、中小企業等の今まで情報セキュリティにあまり関心のなかった層にも幅広く呼びかけ、企業や組織の経営者・部門長、セキュリティ担当者、システム管理者、ウェブサイト運営者、ウェブアプリケーション開発者を主対象に、情報セキュリティの管理面・技術面からの対策に関するセミナーを全国各地で開催します。

◆ 開催概要 ◆

日 時	マネジメントコース入門編 7月7日 (火) 9:30 ~12:00
	マネジメントコース実践編 7月7日 (火) 13:00 ~16:00
	技術コース 標準編 9月 4日 (金) 9:30 ~12:00
	技術コース 専門編 9月 4日 (金) 13:00 ~16:00 ※コース概要は別紙を参照して下さい
会 場	(株)和歌山リサーチラボ 大会議室
講 師	独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) セキュリティセンター 研究員
主 催	(株)和歌山リサーチラボ、経済産業省、独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)、日本商工会議所
後 援	(社)和歌山情報サービス産業協会
参 加 費	無料
副 読 本	情報セキュリティ読本 (¥500)、情報セキュリティ教本改訂版 (¥2,500) をセミナー会場にて販売します。
募 集 人 数	マネジメントコース入門編・マネジメントコース実践編・技術コース標準編・技術コース専門編 各 60 名 (募集人数に達し次第締め切ります。)
申 込 み	申込書に必要事項をご記入のうえ、E-mail、FAX、でお申込みください。 お申込み受付後、受付受領案内を送付致します。
そ の 他	本セミナーは IT コーディネータ協会が後援するセミナーです。IT コーディネータ協会主催セミナーに準じ、4 時間で 1 知識ポイントが年度間の上限なしで付与されます。IT コーディネータの方は、申込書に認定番号を記入して下さい。

お問合せ：(株)和歌山リサーチラボ 担当： 研修部 西岡
 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 11 番地

TEL : 073-484-2000 FAX : 073-483-6006 E-mail : nishioka@wrl.co.jp URL : http://www.wrl.co.jp

きりとり

FAX : 073-483-6006

(株)和歌山リサーチラボ 担当 研修部 西岡 行

◆◆ 「2009 年度 IPA 情報セキュリティセミナー」への参加を申込みます ◆◆

貴社名	フリガナ		
住 所	フリガナ 〒		
貴 名	フリガナ	所属・役職	
T E L		F A X	
E-mail		ITC 認定番号	
参加希望コース	<input type="checkbox"/> マネジメントコース入門編 <input type="checkbox"/> マネジメントコース実践編 <input type="checkbox"/> 技術コース標準編 <input type="checkbox"/> 技術コース専門編		

◆ コース概要 ◆

情報セキュリティ対策 マネジメントコース入門編	
主な対象	中小企業の経営者や管理者で、情報セキュリティ対策の必要性は感じているが、まず何をすべきか分からないという方
概要	<p>重要な情報の保管、持出し、廃棄、ウイルス対策、パソコンやメールを利用する上での注意点、従業員や取引先での機密保持など、中小企業が入門レベルとして最初に取り組むべき情報セキュリティ対策について、「5分でできる！中小企業のための情報セキュリティ自社診断」にある25個のチェックポイントを紹介しながら解説する。</p> <p>(参考)5分でできる！中小企業のための情報セキュリティ自社診断 http://www.ipa.go.jp/security/manager/know/sme-guide/index.html</p> <p>【前年度からの変更内容】 前年度はウイルスやスパイウェアなどの脅威に対する対策を中心としていたが、今年度は情報の管理、従業員の管理など、マネジメントの基礎を中心とした内容としています。</p>
情報セキュリティ対策 マネジメントコース実践編	
主な対象	企業における管理面からの情報セキュリティ対策に関し、具体的に事故事例から対策のポイントについての理解を深めたい方
概要	<p>情報セキュリティに対する組織的・物理的対策等の管理的取組について、それぞれ事故事例を踏まえ、事故発生の原因、危険要因を分析し、行うべき対策例や対策のポイントを解説する。</p> <p>事故事例には、退職者の情報持ち出しや、競合他社への就職、私物 PC の利用による情報漏えい、アウトソーシングサービス利用時の事故、委託先からの情報漏えい、システム障害など、発生しがちな事故を例示し、シナリオベースのケーススタディを行う。</p> <p>【前年度からの変更内容】 経営者や責任者として理解すべき項目は何かという観点から、体制の整備、ポリシーの作成、情報の管理、従業員や委託先の管理など、組織的対策の基礎について解説し、前年度はどちらかという理論的な内容であったが、今年度はケーススタディを中心に実践的な内容とする。</p>
情報セキュリティ対策 技術コース標準編 ～脅威の動向と技術的対策の概要～	
主な対象	企業における情報セキュリティ脅威、および技術面からの対策に関して理解を深めたい方
概要	<p>近年の情報セキュリティ脅威は「見えない化」が進み、その全貌が分かりにくくなりつつある。さらに、日々新たな攻撃手法が出現しているのが実情であり、適切な対策のためには“敵を知る”ことが大前提となる。本コースではセキュリティ事故防止の視点から、最近の重大な情報セキュリティ脅威の動向と事例を紹介しつつ、それぞれの技術的対策のポイントについて解説する。</p> <p>【前年度からの変更内容】 基本的な構成は前年度と変わらないが、最新の10大脅威・脆弱性届出状況・不正アクセス届出状況に基づいた解説に変更する。</p>
情報セキュリティ対策 技術コース専門編 ～セキュリティ事故のケーススタディ～	
主な対象	ウェブサイトの開発・運営や、システムの運用に関わっている方で、生じる安全上の問題およびその対応方法について理解を深めたい方。
概要	<p>企業等がウェブサイトを構築する際、開発するウェブアプリケーションにおいて必要なセキュリティ対策について、デモを交えて解説する。</p> <p>また、情報システムの運用時に、セキュリティ事故が発生した際、技術的な調査、および対応の方法を、ケーススタディを通じて解説する。</p> <p>【前年度からの変更内容】 基本的な構成は前年度と変わらないが、最新のセキュリティ動向を踏まえて3つのケーススタディを見直し、必要に応じて入れ替える。</p>

IPA セキュリティセンターについて

IPAは経済産業省の外郭団体です。IPAセキュリティセンターでは、経済産業省の情報セキュリティ政策を実行に移すため、情報セキュリティに対する具体的な対策情報・対策手段を提供するとともに、セキュアな情報インフラストラクチャの整備に貢献するための様々な活動を行っています。

URL <http://www.ipa.go.jp/security/>